令和４年度　**熊本県若年性認知症受入促進事業**

～若年性認知症の人と共に～

令和４年度　熊本県南圏域若年性認知症受入促進研修　次第

日時：令和５年２月25日（土）１３：００～１６：００

開催方法：オンライン（ZOOM）形式にて開催　　募集人員：100名

時刻	時間	内容	講師
13：00		開会	合同会社　千里プランニング
	10分	「熊本県若年性認知症受入促進研修」募集について	合同会社　千里プランニング代表 熊本県若年性認知症受入促進研修講師 太田　千里
13：15	40分	「若年性認知症の居場所づくり」	熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター吉田病院 連携担当・看護師 松田　康子　氏
14：00	40分	「若年性認知症の父と共に」 ―若者ケアラーの立場からー	介護家族 松本　亜紀子　氏
14：45	70分	「若年性認知症の現状と支援」	神経内科、精神科医・南魚沼市病院事業管理者・日本老年精神医学会専門医･NPO法人若年認知症サポートセンター理事長　他 宮永　和夫　氏
15：55	5分	質疑応答・事務連絡	
16：00		閉会	

【宮永和夫　氏　プロフィール】1. 著書：「若年認知症とは何か」「若年認知症の臨床」「高次脳機能障害のある方と働くための教科書」「介護スタッフのための安心！急変時対応」「最適ケアを実践する高次脳機能障害アセスメントブック」その他多数

2. 国立群馬大学医学部精神科在籍時から認知症・高次脳機能障害など器質精神障害の臨床に関わる。平成８年「厚生労働省厚生科学研究若年痴呆研究班」を組織し主任研究者として調査を実施。この研究班に於いて「若年認知症」の名称が作られた。

3. 平成19年「NPO法人若年認知症サポートセンター」を発足。全国の家族会支援や「若年認知症専門員」という実践的ケアのスペシャリスト養成等にも取り組まれている。

お申し込み方法

★QR コードまたは URL を読み取り必要事項を入力してお申し込みください。
研修参加のご予約ができます。（タブレット・携帯電話からも可能です）
https://zoom.us/webinar/register/WN_pL-5lDJKQv28CoTruW1_7A
入力項目
① お名前　② メールアドレス

お申込期限

令和 5 年

2 月 24 日（金）まで

研修会参加に関する留意事項

■当日は３０分前から入室可能です。早めの入室をお願い致します。また、事前に必ず ZOOM のインストールを済ませておいてください。
■画面に表示されるお名前は必ずフルネームでご入力ください。
■カメラ・マイク・スピーカー付きのパソコン又はタブレット（スマートフォン）が必要です。

問い合わせ先

〒869-4201　熊本県八代市鏡町鏡村 1103-1　合同会社「千里プランニング」

TEL：0965-52-5566　　FAX：0965-52-5677　　Mail:shouji-oota@outlook.jp

令和５年２月吉日

関係機関の皆様

合同会社　千里プランニング
代表　太田　千里

令和４年度　熊本県若年性認知症受入促進研修のご案内

余寒厳しき折、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

関係機関の皆様には日頃より何かとご高配を賜りお礼を申し上げます。

さて、熊本県内においての若年性認知症者数は 675 人（内県南地域では 132 人）となっています。（留意点：①令和２年９月末時点での市町村調査②介護認定されていない方は含まれない③40 歳未満の若年性認知症の方は含まれない等）少数だと感じられる方もおられるかと思いますが、今も若年性認知症のご本人やご家族は、どこにも誰にも相談できず家族内で様々な問題を抱え込み暮らされているというケースは決して珍しくありません。

では、ご本人やご家族が抱え込まれている問題とはなんでしょうか？それは一言に「生活のしづらさ」です。例えば①どんな病気か理解されにくい②家族関係に大きな影響が出る③経済的に困窮する④適切な社会資源がない等が挙げられます。特にこの④に関しましては若年性認知症の方は介護保険や障害者制度のはざまにあり社会資源が利用しにくい＝利用できない状況も多々あるのです。また、このような現状が「ひきこもり」や「家族間の抱え込み」「病気の悪化」へと発展していきます。また、私自身も若年性認知症に関しての周知活動時に「若年性認知症の受け入れはむり」「若くて体力がある認知症の方の対応には自信がない」など介護現場からの声をよく耳にすることもあります。

このような現状も踏まえ、一人でも多くの皆様が若年性認知症を正しく理解し、関心を持つことで若年性認知症ご本人の「居場所の拡大」へと繋がり、且つ様々な場面で若年性認知症ゆえに決して不利益を被ることがないような地域社会の実現に皆様と近づけていくことができるためのきっかけとなる研修になればと思います。

最後に関係機関の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、この研修が皆様へ「実りのある研修」としてご提供できるものと確信しご案内とさせていただきます。

関係機関の皆様のご参加を心よりお待ちしております。